

「地域介護予防活動支援事業」 「地域リハ活動支援事業」受託



2016年(平成28年) 4月7日 毎週木曜日発行
 発行所 株式会社北海道医療新聞社
 〒060-0042 札幌市中央区大通西6丁目(北海道医師会館)
 ☎011(221)7777 ホームページ http://www.medim.co.jp

主な記事
 2面…札幌市が知的障害者の初任者研修、マッチング事業等
 3面…2035年に人材需給ギャップ68万人解消
 10面…平均給与、改善加算(I)で1万3170円アップ

「預かる・楽しいだ 容見直しなど通所介
 けのデイ」から「元気を の機能強化を図り、15
 つくるデイ」に向けて、 年9月に町内初のPT
 さつき会はサービスを1人採用。PT採用 護予防活動の企画・実

通所介護PTが担当

「新たに組み始め たのは、住民主体の介
 護予防活動の企画・実
 施を支援する地域介
 護予防活動支援事業、地
 域リハ活動支援事業、地
 域介護予防活動支援事業、
 ケアケア交流講座、ヘル
 パー茶話会、健康リスク
 講座、学習療法サポ
 ーター養成講座、訪問
 型サービス(予防給付相
 当)、在宅サービス(要
 支援)50人、総合事業
 (要支援)54人、在宅
 サービス(介護1~3)201
 人、施設サービス(介護
 4以上)97人」

社会福祉法人と行政、 住民の3者役割分担

「波瀾常務理事」

人材・ノウハウ提供、 来春新たな拠点整備も

「波瀾常務理事」の考案、
 す体操(仮称)の考案、
 普及、介護予防サポー
 ター養成も予定してい
 る。
 老人クラブなどに加
 え、さつき会のサテラ
 イト特養・小規模多機
 能型居宅介護・地域交
 流拠点整備をきっかけ
 に発足した、サロン活
 動や朝市などを行って
 いる住民互助組織「ぬ
 くもり友の会」にも介
 護予防活動実施を呼び
 かけ、支援する考えた。
 こうした既存団体に
 よる通いの場だけでな
 く、町の支援を受けて
 17年4~6月オープン
 を目指しているシルバ
 ーフィットネス・カフ
 エテリア併設の「地域
 密着多機能型サービス
 付き高齢者向け住宅」
 も活用。
 ①安心住まい②元気
 づくり③生涯活躍の一
 3つの場を基本方針に
 掲げ、一人暮らしの不
 安・困難、家族の介護
 負担などから旭川市内
 高齢者住宅に早めに住
 り(波瀾常務理事)を
 目的としている。

さつき会は特養や認
 知症グループホーム、
 小規模多機能、訪問介
 護、通所介護など、町内
 介護サービスを一手に
 引き受けているが、総
 合事業は在宅・施設サ
 ービス利用対象者の5
 倍を超える一般高齢者
 らを対象とした新たな
 アプローチ。
 介護事業所・施設機
 能を生かし、これまで
 実施してきた法人独自
 事業のヘルパーステー
 ションによる茶話会
 (サロン活動)、在宅介
 護者や地域住民、介護
 専門職が参加するケア
 ケア交流講座などの介
 護予防・地域支援も組
 み合わせながら、「総合
 事業から看取りまで切
 れ目のない支援」早く
 関わり、長く支える「伴
 走型ケアマネジメント」
 ト」を柱に、地域包括
 ケアシステムに対応し
 た役割を果たしていく
 考えた。

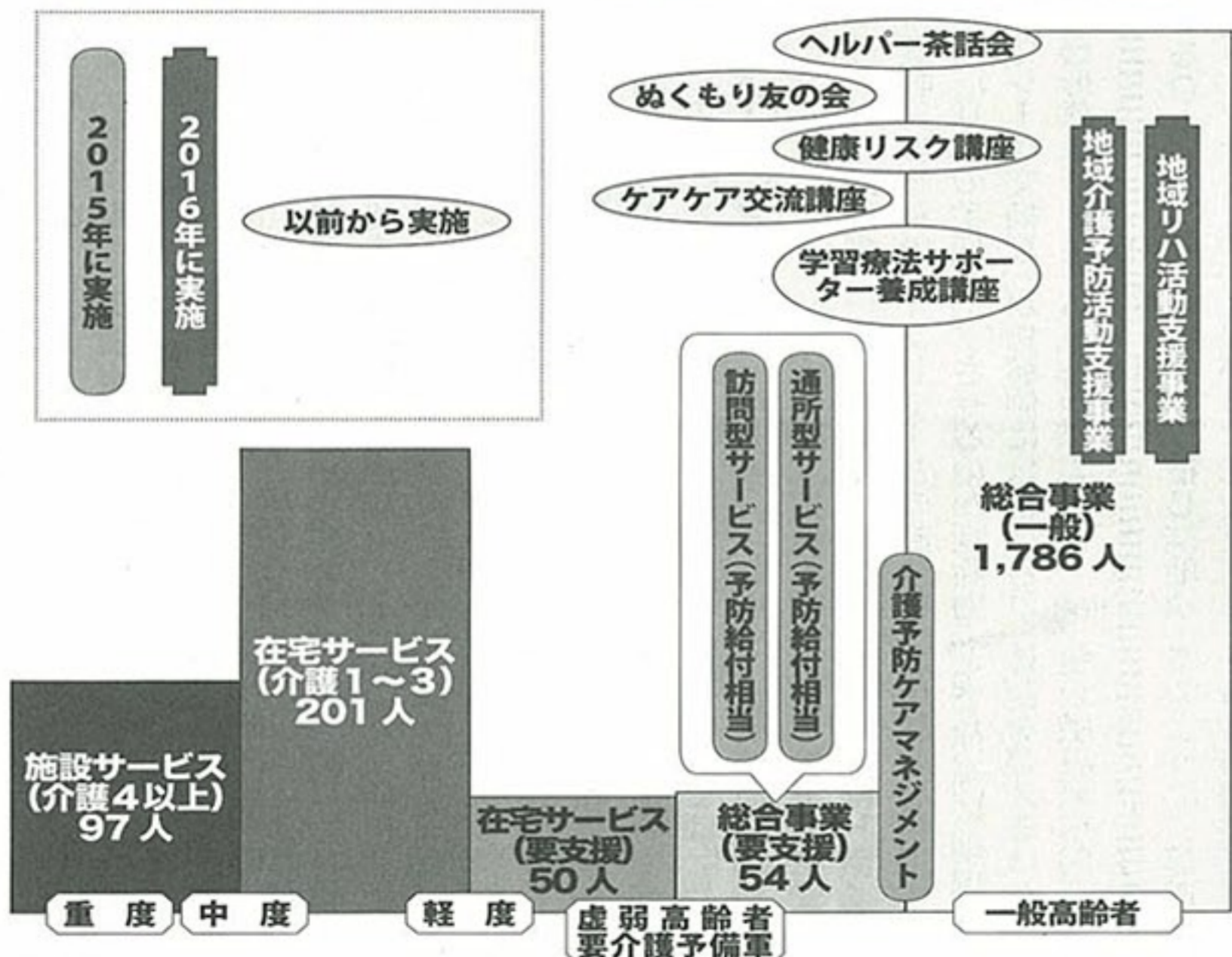
鷹栖町・さつき会



「ヘルパー茶話会」の早期発
 達の早期対応に
 法人が早期見
 察・早期対応に
 事業の展開に
 開も見据え、課
 題要因の検討、
 改「社会福祉法
 人」を支援する
 地域リハ活動
 として、活動
 支援事業。
 地域介護予防
 活動支援事業
 地域で役割を
 担い、地域介
 護予防活動支
 援事業では、ご
 当地介
 護予防体操「あ
 ったか

特養などを運営する鷹栖町・社会福祉法人さつき会は、
 町から介護予防・日常生活支援総合事業の一般介護予防
 事業(地域介護予防活動支援事業、地域リハ活動支援事
 業)を受託し、1日から事業をスタートした。通所介護に
 配置している、町内唯一の理学療法士が担当。2017
 年春には介護予防・地域交流拠点も整備する。社会福祉
 法人の果たすべき役割を考え、人材やノウハウ、拠点を提
 供。「元気づくり・生涯活躍」要介護状態になっても安心
 して暮らせる地域づくりを両輪に、行政・地域住民と役
 割を分担し、三者協働で取り組む。

さつき会における総合事業・法人独自事業の取り組み



介護事業所・施設機
 能を生かし、これまで
 実施してきた法人独自
 事業のヘルパーステー
 ションによる茶話会
 (サロン活動)、在宅介
 護者や地域住民、介護
 専門職が参加するケア
 ケア交流講座などの介
 護予防・地域支援も組
 み合わせながら、「総合
 事業から看取りまで切
 れ目のない支援」早く
 関わり、長く支える「伴
 走型ケアマネジメント」
 ト」を柱に、地域包括
 ケアシステムに対応し
 た役割を果たしていく
 考えた。